

地球温暖化による影響は着実に進行しています

異常気象が50年間で5倍に

世界気象機関(WMO)によると、異常気象の発生件数は、1950年からの50年間で5倍に増加しました。個々の気象災害と気候変動問題との関係を明らかにすることは容易ではありませんが、このまま何も対策をとらなければ、海面上昇や食料不足、健康被害など、私たちや未来世代の暮らしへの影響はさらに深刻化すると予測されています。

兵庫県内の気候の将来見通し (21世紀末)

- 20世紀末と比較して、
- 平均気温は最大約4.3℃上昇
 - 年間猛暑日日数は最大約31日増加
 - 年間熱帯夜日数は最大約58日増加
 - 大雨や短時間豪雨の頻度が増加 など
- 【出典】神戸地方気象台「兵庫県の気候変動」

これらの進行を防ぐために・・・

三木市は「2050年カーボンニュートラル」をめざします！

市では令和3年4月から地球温暖化対策への意識啓発として「クールチョイス」を推進し、令和6年4月からは、具体的な事業を実践する「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)」へと発展させ、2050年までに二酸化炭素などの排出量を実質ゼロにすることをめざし、令和7年4月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。これにより、地球温暖化対策により一層取り組み、市民、事業者、行政が一体となって、カーボンニュートラルに向けた取組を推進していきます。



カーボンニュートラルの達成イメージ



三木市地球温暖化対策実行計画を策定

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、市では「地球温暖化対策実行計画」を策定しました。この計画は、温室効果ガスの排出を抑え、脱炭素社会の実現をめざすための具体的な目標と取組の方針をまとめたものです。家庭や事業所、地域など、あらゆる場面での省エネや再生可能エネルギーの活用、環境に配慮した暮らしを市民の方と共に進めていくため、生活の中でできるデコ活アクションなども記載しています。



▲計画はこちら

4ページから、私たちができる具体的なデコ活アクションを紹介します！

未来のために今私たちができることを ゼロカーボンシティ宣言！

～二酸化炭素排出量実質ゼロをめざして～

問(市)環境政策課



未来の世代に豊かな環境を

近年、集中豪雨や猛暑、台風の大規模化など、気候変動による影響が私たちの暮らしに深刻な形で現れるようになってきました。さらに、エネルギーや食料の供給が不安定になるなど、地球環境の変化は日常生活にも少しずつ影響を及ぼし始めています。その主な原因とされるのが、温室効果ガス、特に二酸化炭素(CO₂)の大量排出です。これを抑えるために、いま世界中で「脱炭素」に向けた動きが加速しています。その中でも注目されているのが、「カーボンニュートラル(ゼロカーボン)」という考え方です。

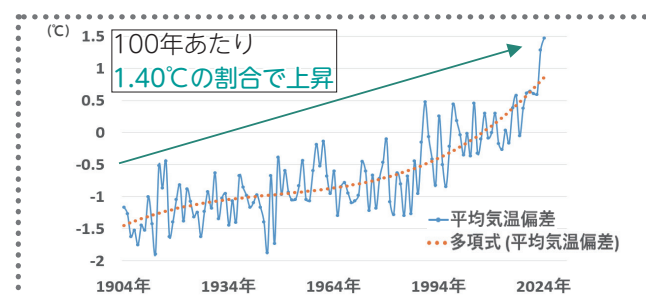
今回の特集では、カーボンニュートラルの基本的な考え方や、市民の皆さんができる環境にやさしい行動の具体例、市で進めている取組などについて紹介します。私たち一人一人の意識と行動で、まちの未来を変えていきましょう。



そもそも地球温暖化って？

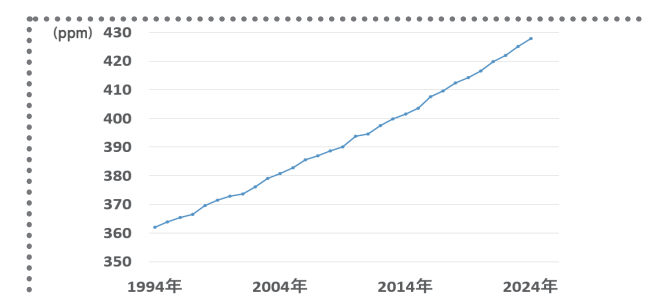
【出典】気象庁ホームページ「日本の年平均気温偏差」・「大気中二酸化炭素濃度の年平均値」

上昇し続ける平均気温



2024年の日本各地の平均気温は、日本の平均気温の基準値(1991～2020年の30年平均値)より+1.48℃で、統計開始以降最も高い数値となりました。

増加し続ける二酸化炭素(CO₂)濃度



日本においても、経済成長の過程におけるエネルギー使用の増加に伴い、大気中の二酸化炭素濃度は、1994年から30年間で約18%増加しています。